



全国がん登録 実務者研修会



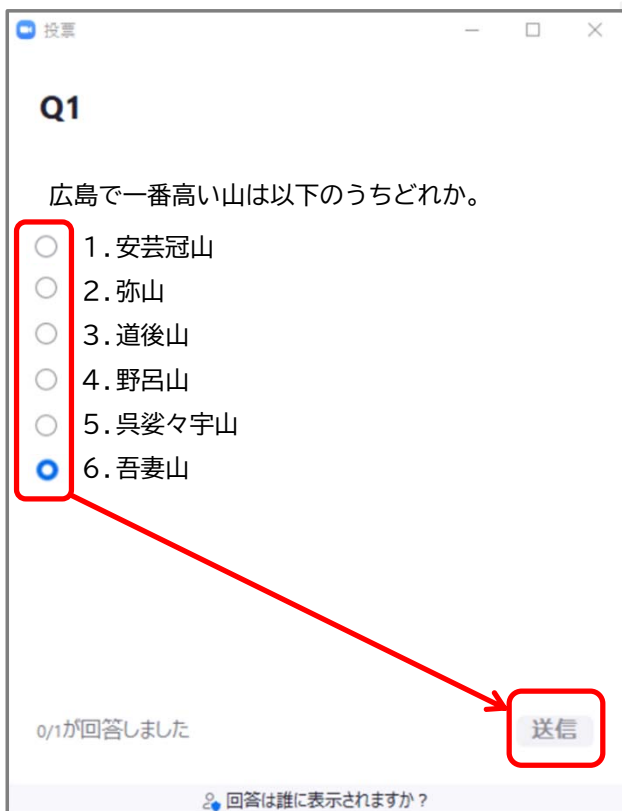
演習問題

2022.07.22 広島県がん登録室

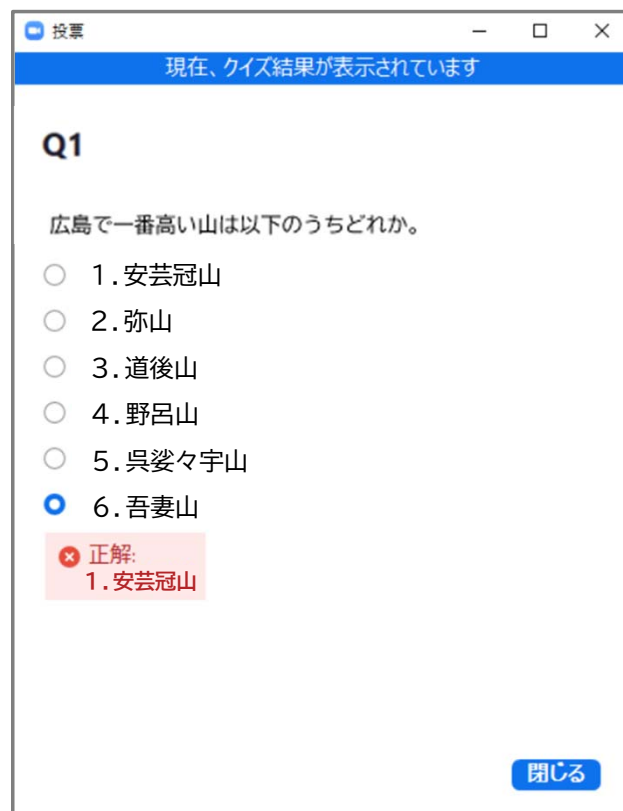
はじめに

- 問題は全部で8問あります
- 本日も話した「届出票について」と「遡り調査について」に関連した問題です
- 全ての問題に1分か2分の解答時間を設けています

ZOOMのクイズ機能を使用します



1. 問題文を読み上げた後、このようなクイズ画面を表示します。
正解だと思う項目にチェックを入れ、送信を押してください。



回答時間終了後にクイズの結果を表示します。

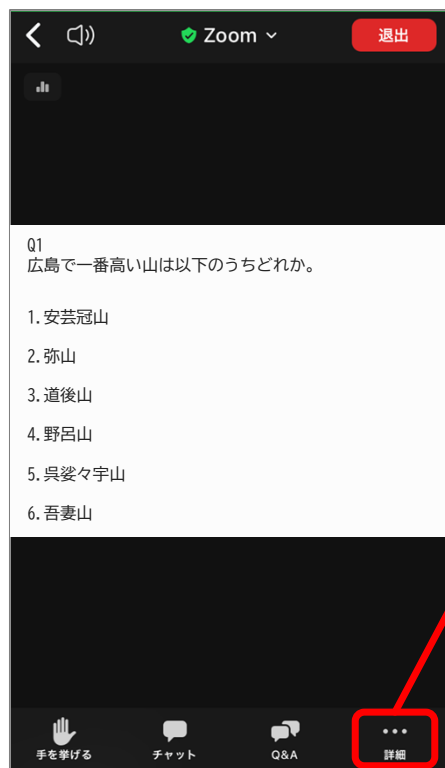
クイズは匿名に設定しているため、ホスト含めどなたも回答送信者の情報を把握することはできません。気軽にご参加ください。

タブレット端末でご参加の方へ



1. クイズ画面が表示されると、このように全画面表示になって問題文が見えなくなります。

その場合、左上の「閉じる」を押してクイズの画面を閉じてください。



2. 画面共有に戻るので、問題文を読むことができます。



3. 右下の「詳細」から「投票/クイズ」を押すとクイズの画面に戻ることができます。

Q.1

届出票

- 自施設は整形外科病院である
- 他施設で肺がん治療中の患者さんが、事故による骨折の治療のため来院

この場合、自施設での届出は必要か必要でないか
以下の2つの選択肢から1つを選択してください。

解答時間:1分



1.届出は必要である

2.届出は必要ない

2. 届出は必要ない

解説

肺がんの治療ではなく事故による骨折の治療のために受診しており、自施設でそのがんに関連する診断・治療等を行っていないので、「2.届出は必要ない」となります。



届出票作成時の注意

- 骨折ががんによるものの場合、届出が必要です

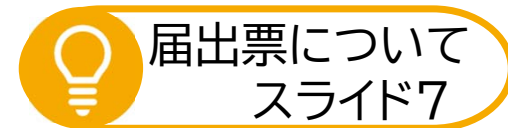
Q.2

届出票

- 自施設で肺がん疑いと診断
- A病院で精査し、肺がんと診断

この場合、自施設での届出は必要か必要でないか以下の2つの選択肢から1つを選択してください。

解答時間:1分

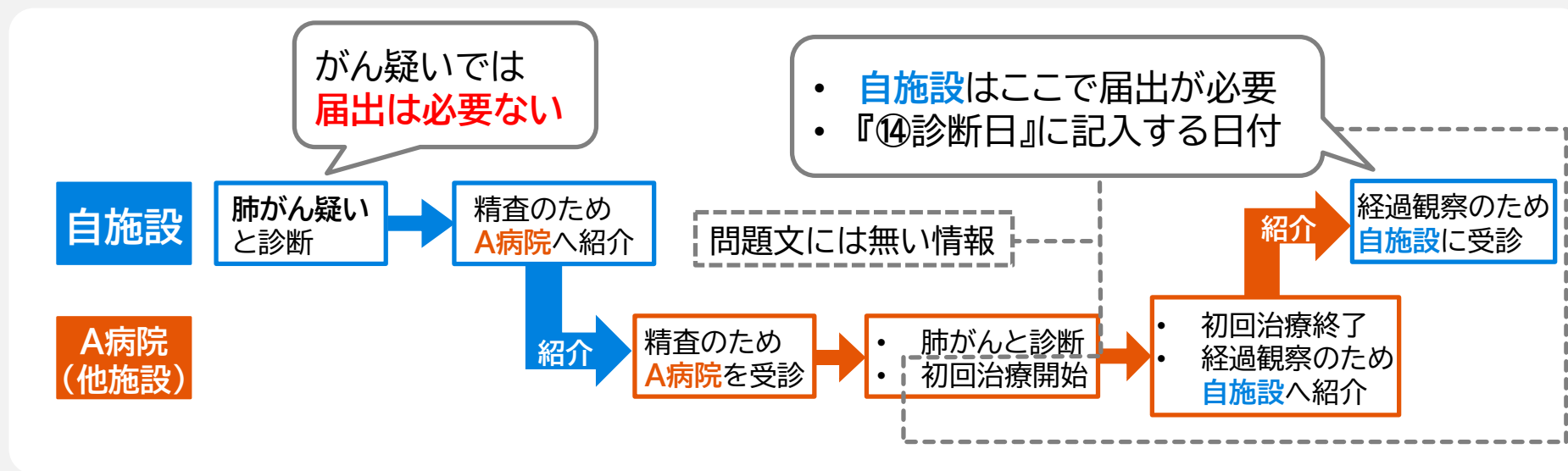


1.届出は必要である

2.届出は必要ない

2. 届出は必要ない

解説



自施設ではがん疑いであり、がんと確定していないので、「2.届出は必要ない」となります。

- 大量吐血による救急搬送で自施設へ来院、その後すぐに亡くなった
- 救急搬送以前の自施設への受診歴はなし
- 出血原因は胃がんであったため死亡診断書にもそのように記入した

この場合、『死亡診断書のがんについて』の回答はどれか、以下の6つの選択肢から1つを選択してください。

解答時間: 2分



遡り調査について
スライド20

死亡診断書のがん
について

1. 通常回答

2. 死亡診断書に記載のがんは調査票の内容とは異なる ⇒ 死亡診断書に記載のがんを以下の調査票に記入

下記に該当する場合、以下の調査票の記入は必要ありません

3. 死体検案

4. 死亡診断書には調査対象のがんの記載なし

5. 調査対象者の該当なし

6. 調査対象腫瘍の詳細診療情報なし（主たる診断・治療病院名：)

6. 調査対象腫瘍の詳細診療情報なし

解説

自施設で作成した死亡診断書に胃がんの記載はあるが、これ以上情報がありません。このように**死亡時の情報しかない**場合は、「6.調査対象腫瘍の詳細診療情報なし」となります。



遡り調査票作成時のポイント

「死亡診断書のがんについて」で「6.調査対象腫瘍の詳細診療情報なし」を選択した場合、それ以降の項目の記入は必要ない

- A病院で膵臓がんと診断・初回治療開始
- 初回治療継続のため自施設へ受診したが、来院後すぐに容態が急変し、治療開始前に亡くなった

この場合、『死亡診断書のがんについて』の回答はどれか、以下の6つの選択肢から1つを選択してください。

解答時間：2分



遡り調査について
スライド11

死亡診断書のがん
について

1. 通常回答

2. 死亡診断書に記載のがんは調査票の内容とは異なる ⇒ 死亡診断書に記載のがんを以下の調査票に記入

下記に該当する場合、以下の調査票の記入は必要ありません

3. 死体検案

4. 死亡診断書には調査対象のがんの記載なし

5. 調査対象者の該当なし

6. 調査対象腫瘍の詳細診療情報なし（主たる診断・治療病院名：)

1. 通常回答

解説



初回治療継続のために自施設を受診しており、その時点の内容を届け出ることができるので、「1.通常回答」となります。

- 自施設に肺がんの遡り調査票が届いた
- 18年前に自施設で肺がんと診断したという情報のみ

この場合、『死亡診断書のがんについて』の回答はどれか、以下の6つの選択肢から1つを選択してください。

解答時間:2分



遡り調査について
スライド11

死亡診断書のがん
について

1. 通常回答

2. 死亡診断書に記載のがんは調査票の内容とは異なる ⇒ 死亡診断書に記載のがんを以下の調査票に記入

下記に該当する場合、以下の調査票の記入は必要ありません

3. 死体検案

4. 死亡診断書には調査対象のがんの記載なし

5. 調査対象者の該当なし

6. 調査対象腫瘍の詳細診療情報なし（主たる診断・治療病院名：)

1. 通常回答

解説

18年前に自施設で肺がんと診断した情報があり、**診断施設と診断日がわかっている**ので「1.通常回答」となります。



遡り調査票作成時のポイント

- この場合、『⑪診断施設』は「1.自施設」、
『⑫治療施設』は「1.自施設で初回治療をせず、
他施設に紹介またはその後の経過不明」となる
- 『⑭診断日』の月日がわからない場合は、
「99月99日」と記入する

Q.6

届出票

遡り調査

- A病院で2018年1月10日に細胞診で膵臓がんと診断・治療開始
- 経過観察のためA病院から紹介されて2018年10月20日に自施設を受診
- 自施設で2018年11月1日にCT施行

この場合、診断日に記入する年月日で適切なものはどれか、以下の3つの選択肢から1つ選択してください。

解答時間:1分



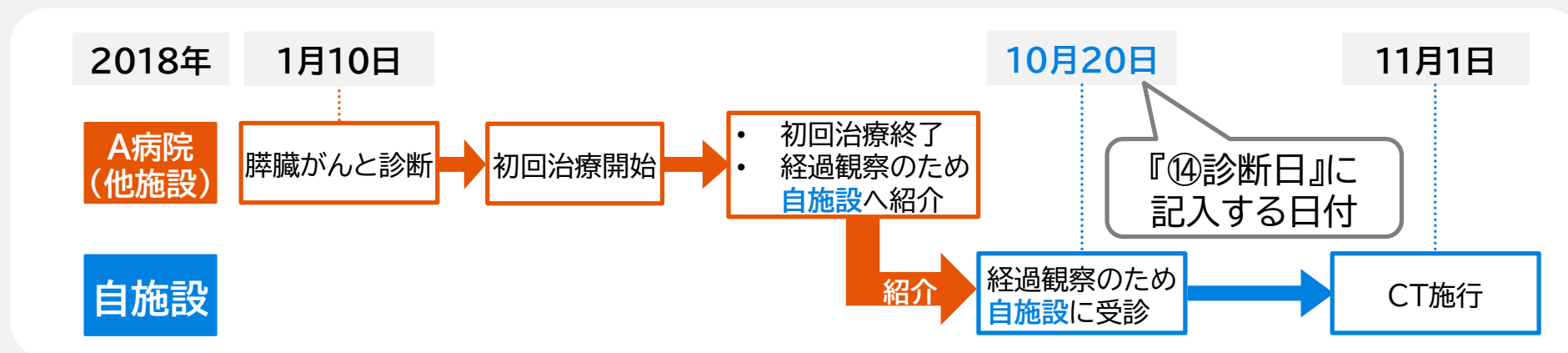
1.2018年1月10日

2.2018年10月20日

3.2018年11月1日

2. 2018年10月20日

解説



『⑪診断施設』が「2.他施設診断」の場合、診断日は当該がんで自施設に受診された日の「2.2018年10月20日」となります。

届出票作成時のポイント

⑪ 診断施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設診断	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 他施設診断
⑫ 治療施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明	
	<input type="checkbox"/> 2. 自施設で初回治療を開始	
	<input type="checkbox"/> 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続	
	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診	
	<input type="checkbox"/> 8. その他	

Q6のような場合、
 『⑪診断施設』は「2.他施設診断」
 『⑫治療施設』は「4.他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診」となる

⑪-2、⑫-4と選択した場合

『⑰進展度・術後病理学的』から
 『⑳その他治療』は必ず左記の
 通りに選択してください

これ以外を選択した場合
 問い合わせの対象となります

ただし、原発部位が「血液」もしくは「骨髄」の場合、
 『⑰進展度・治療前』と『⑰進展度・術後病理学的』
 は「777.該当せず」を選択してください

進行度	⑯ 進展度・治療前	<input type="checkbox"/> 400. 上皮内	<input type="checkbox"/> 410. 限局	<input type="checkbox"/> 420. 領域リンパ節転移	<input type="checkbox"/> 430. 隣接臓器浸潤	<input type="checkbox"/> 440. 遠隔転移	<input checked="" type="checkbox"/> 777. 該当せず	<input type="checkbox"/> 499. 不明	
	⑰ 進展度・術後病理学的	<input type="checkbox"/> 400. 上皮内	<input type="checkbox"/> 410. 限局	<input type="checkbox"/> 420. 領域リンパ節転移	<input type="checkbox"/> 430. 隣接臓器浸潤	<input type="checkbox"/> 440. 遠隔転移	<input checked="" type="checkbox"/> 660. 手術なし・術前治療後	<input checked="" type="checkbox"/> 777. 該当せず	<input type="checkbox"/> 499. 不明
初回治療	⑱ 外科的	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし	<input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明					
	⑲ 鏡視下	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし	<input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明					
	⑳ 内視鏡的	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし	<input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明					
	㉑ 観血的治療の範囲	<input type="checkbox"/> 1. 原発巣切除	<input type="checkbox"/> 4. 姑息的な観血的治療	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 観血的治療なし	<input type="checkbox"/> 9. 不明				
	㉒ 放射線療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし	<input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明					
	㉓ 化学療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし	<input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明					
	㉔ 内分泌療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし	<input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明					
㉕ その他治療	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし	<input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明						

※赤で示していますが、提出の際は必ず黒でご記入下さい

- 原発腫瘍が甲状腺の右葉にある乳頭状腺癌の届出票を作成する

この場合側性はどれか、以下の5つの選択肢から1つを選択してください。

解答時間:1分



届出票について
スライド23・24

⑧ 側性

1. 右

2. 左

3. 両側

7. 側性なし

9. 不明

7. 側性なし

解説

全国がん登録では、甲状腺は側性のない臓器のため、診療録に側性が書いてあっても「7.側性なし」となります。



届出作成時のポイント

- 肝や脳も全国がん登録では側性のない臓器

Q.8

届出票

遡り調査

- 自施設で肺がんと診断
- すぐにA病院へ紹介し、初回治療はA病院で開始
- その後自施設に戻ってきて初回治療の続きを開始

この場合、『⑫治療施設』の回答はどれか。
以下の5つの選択肢から1つを選択してください。

解答時間: 2分

⑫ 治療施設	<p><input type="checkbox"/> 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 自施設で初回治療を開始</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診</p> <p><input type="checkbox"/> 8. その他</p>
--------	---

 届出票について
スライド8

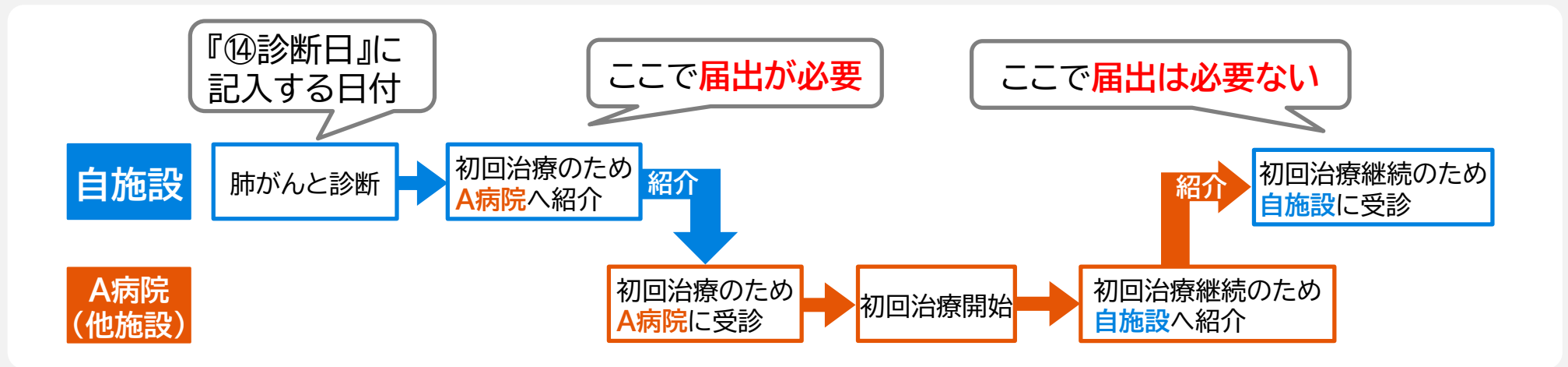
1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明

解説

自施設で肺がん診断後、初回治療をせずA病院へ紹介しているため、「1.自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明」となります。

💡 届出作成時のポイント

全国がん登録では、**自施設でがんと診断**した患者を初回治療のために**他施設へ紹介**し、その後**自施設に戻ってきた**場合、はじめにがんと診断した時点で、届け出られているため、戻ってきた際にあらためて届け出る必要はありません。



Q2とはがんと診断確定したタイミングが異なるため、届出のタイミングも異なります。



演習問題は以上です

次は「質疑応答」です